

2012 (H24) 年度～

- 仮ホーム（8・9番線）の使用開始後、地上旧5・6・7番線付近で高架化工事を行いました。

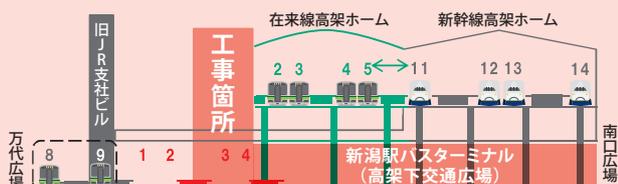


高架化工事箇所 (2022年6月現在)



2018 (H30) 年度～

- 高架ホーム2～5番線と、新幹線と在来線の同一ホームが供用され、新幹線との乗り換え利便性が向上し、利用圏域の広がりが期待されます。
- 越後線の高架化工事が完了し、2つの踏切が廃止され南北方向の移動の利便性・安全性が向上しました。
- 引き続き、高架ホーム1番線の整備に向けて、地上旧2・3・4番線付近で工事を進めました。



新幹線と在来線の同一ホーム乗り換え (2018年4月)



天神尾踏切、米山踏切廃止 (2018年4月)



2022 (R4) 年度～ (在来線全線高架化)

- 信越線、白新線や新潟駅の全ての高架化工事が完了し、その後、鉄道高架橋の下では、土地の有効利用や道路整備が進められます。



全線高架化



高架下利用 イメージ



在来線の高架下の一部では、駐輪場などの公的施設による有効活用が可能となります。

整備後の高架側道



高架側道や鉄道横断道路を整備し、沿線環境影響の緩和と地域交通の利便性向上を図ります。